

駿東新聞

第 88 号

H 26, 6 月

発行人 → 医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町 6-1
TEL → 055-922-8855
URL → <http://www.sunto-seikei.jp>

みなさん こんにちは!!

梅雨になりジメジメした日は嫌になりますね

この時季は食中毒にならないよう 手洗い・うがいや食べ物の

管理に気をつけましょう!!

また、熱中症にならないよう、水分補給や日差し対策なども

忘れずに!!

さて今月は、看護師の山口さんのお話です★

芥沢光治郎記念館

看護 山口

駿東新聞を御覧の皆様、看護師の山口です。私は現在
我入道に住んでいます。

今回は我入道出身の小説家、芥沢光治郎と光治良
の記念館を紹介したいと思います。

<芥沢光治良>



明治29年 静岡県駿東郡掃原村大字我入道(現在の沼津市我入道)
に生まれる。4才で父母が光治良のもとから去ってしまい、祖父母や叔父
叔母に育てられる。旧制沼津中学校(現在の沼津東高校)を卒業。
大正11年 東京帝国大学経済学部卒業、農商務省に入省する。

大正14年 ソルボンヌ大学に入学するが、昭和2年に肺結核が
発見され療養する。昭和3年7月、フランスより帰国。その後
「ブルジョア」を執筆。改造社の懸賞小説一等に当選する。

昭和17年1月~12月「巴里に死す」を婦人公論に連載。

昭和31年「巴里に死す」が森有正により仏訳され、1年で10万部の
ベストセラーとなる。昭和37年「人間の運命」刊行。

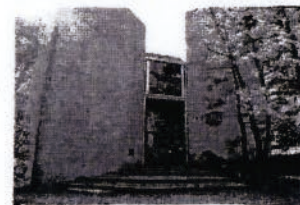
昭和40年「人間の運命」(一部6巻)が芸術選奨文部大臣賞を受賞し、
10月に日本ペンクラブ会長に選ばれる。昭和61年「神シリーズ」全8
巻を平成5年亡くなるまで書き続ける。当年97才。

現在は、沼津市中瀬町の市営墓地に眠っている。

<芥沢光治郎記念館>

昭和45年 芥沢光治郎の心友、岡野喜一郎(前ZUIGA銀行会長)が
財団を設立し「芥沢文学館」として創設された。平成21年 財団法人
井上靖文学館から沼津市に寄贈され、同年10月に「沼津市芥沢光治郎
記念館」として開館された。菊竹清訓(きくたけきよのり)氏の設計に
よる西洋教会をモチーフにした建物です。

- ・1階展示室は 芥沢光治良の作品や写真など、
展示
- ・2階展示室は市民ギャラリーとして沼津の様々の
文化に関する企画を展示
- ・3階屋上テラス(晴れ、日のみ開場) 屋上からは我入道海岸から
駿河湾まで一望できる。



皆様 いかがでしたか? 少しは興味を持てただけでしたか?
興味のある方はぜひ一度来館してみてください!!